

2024年度 地球温暖化対策実行計画 実施状況報告書

1 第3次実行計画の概要

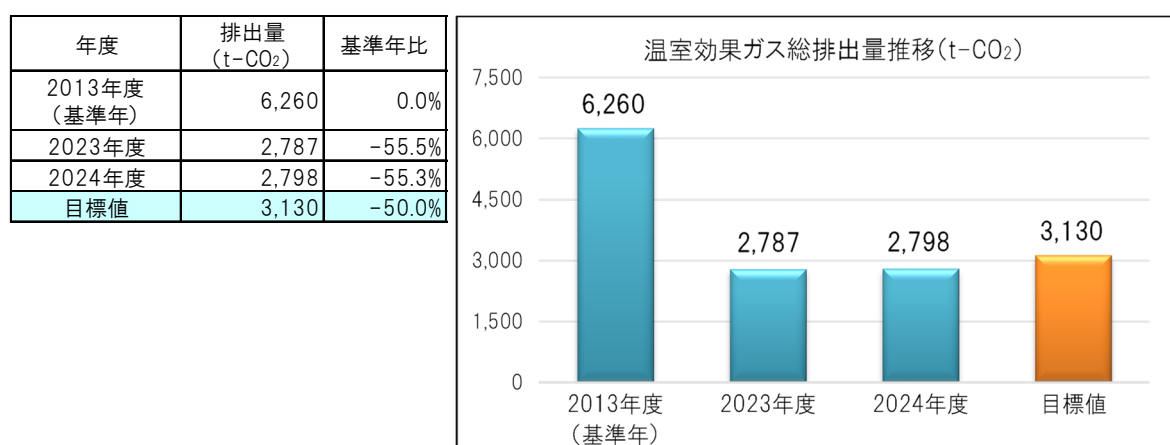
- 基準年：2013年度
- 実行計画期間：2023年度 ～ 2027年度（5年間）
- 実行計画の対象範囲：本町の管理する全事務及び事業（直接管理施設・指定管理施設）
- 調査対象ガス：二酸化炭素（CO₂）
- 基準年の温室効果ガス排出量（基準排出量）：6,260 t-CO₂
- 削減目標：基準排出量に対し目標年度2027年度の排出量を 50.0% 削減

2 2024年度温室効果ガス排出状況

（1）温室効果ガス排出量算定の概要

- 温室効果ガス排出量は、「活動量」（電気、燃料などの使用量）に、「排出係数」（電気や燃料など個別に設けられた係数）を乗じて算定。

（2）温室効果ガス総排出量及び排出量推移



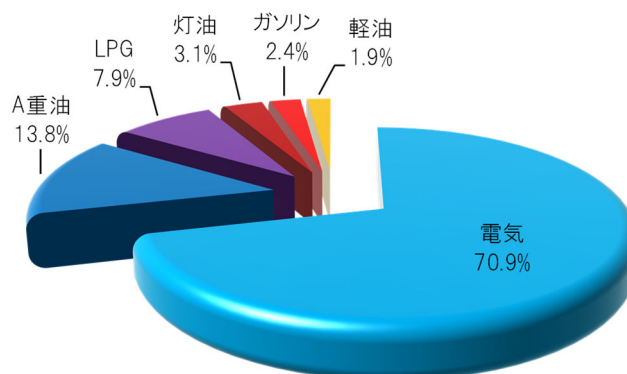
- 2024年度温室効果ガス排出量：2,798 t-CO₂
- 基準排出量：6,260 t-CO₂
- 目標排出量：3,130 t-CO₂
- 基準排出量に対して3,462 t-CO₂（55.3%）削減したことで、現状では削減目標（-50.0%）を上回る結果となった。

(3) 温室効果ガス排出構成及び排出源別排出量推移

① 排出構成

排出源	排出量 (t-CO ₂)
電気	1,983
A重油	385
LPG	222
灯油	87
ガソリン	68
軽油	53
合計	2,798

注)端数処理の関係で合計値が合わない場合がある。

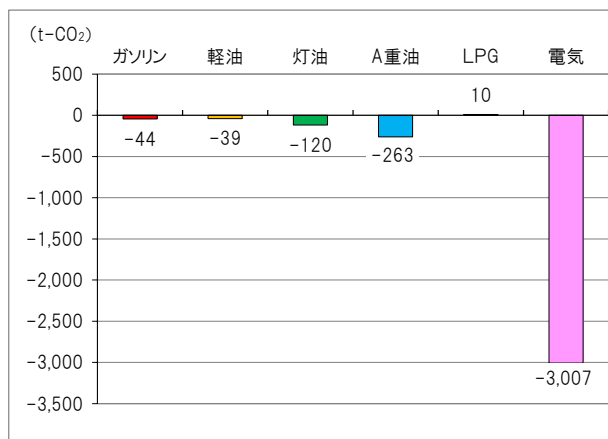


- 電気使用に伴う排出量が全体の70.9%を占め、以下A重油（13.8%）、LPG（7.9%）、灯油（3.1%）、ガソリン（2.4%）、軽油（1.9%）と続いている。

② 排出源別排出量推移

項目		2013年度 (基準年)	2023年度		2024年度	
		排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比
燃料	ガソリン	111	68	-38.8%	68	-39.2%
	軽油	92	53	-41.7%	53	-42.4%
	灯油	207	86	-58.4%	87	-57.8%
	A重油	648	399	-38.5%	385	-40.5%
	LPG	212	213	0.4%	222	4.6%
電気		4,990	1,968	-60.6%	1,983	-60.3%
温室効果ガス全体		6,260	2,787	-55.5%	2,798	-55.3%

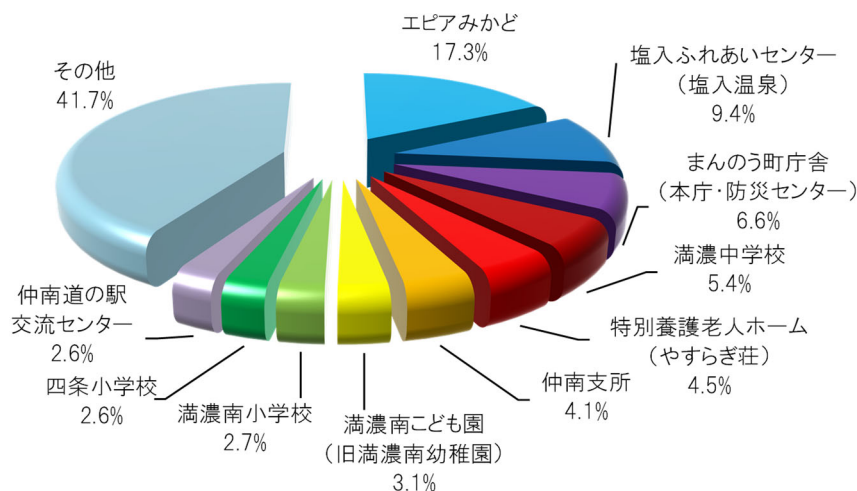
注)端数処理の関係で合計値が合わない場合がある。



- LPGを除く全ての排出源（電気及び燃料）において排出量が減少している。
- 排出量が減少した主な要因は、まんのう町の水道事業が香川県広域水道企業団に移管したことによる電気使用量の減少である。

(4) 施設別温室効果ガス排出状況

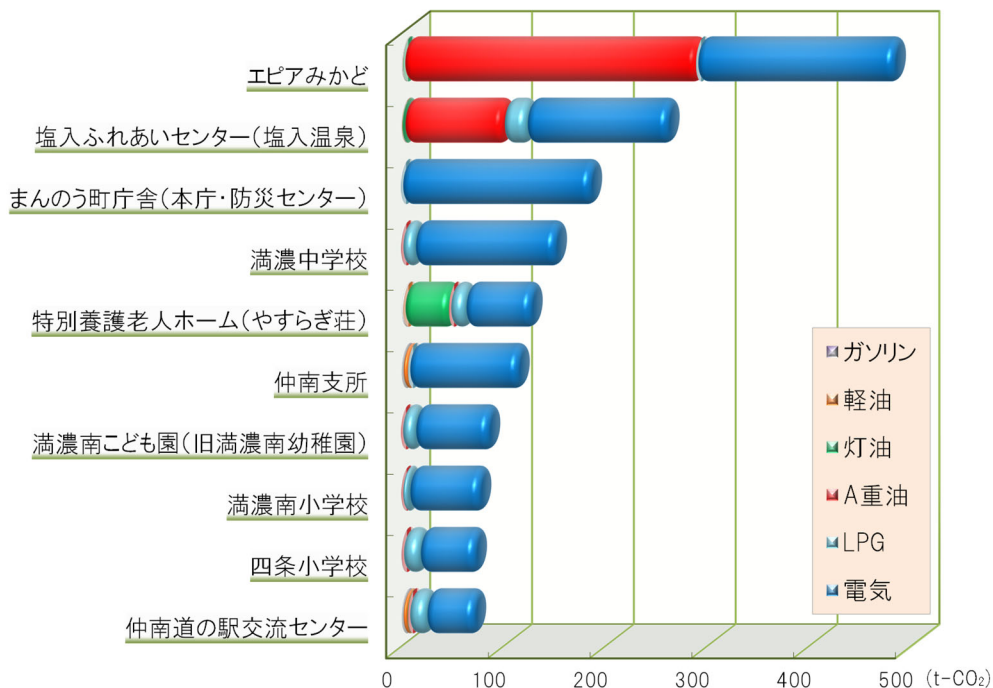
① 施設別温室効果ガス排出構成（上位10施設）



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

- エピアみかどでの排出量が全体の17.3%と最も多く、以下、塩入ふれあいセンター（塩入温泉）（9.4%）、まんのう町庁舎（本庁・防災センター）（6.6%）、満濃中学校（5.4%）等となっている。

② 施設別排出源構成（上位10施設）



- 排出量上位10施設での排出源別構成では、エピアみかど及び塩入ふれあいセンター（塩入温泉）でのA重油、特別養護老人ホーム（やすらぎ荘）での灯油使用に伴う排出が目立つものの、電気使用に伴う排出が大勢を占めている。